

## (一社)日本家政学会 2022 年度第 2 回(通算 488 回)理事会議事抄録

開催日時 : 2022 年 6 月 12 日(日) 13:30~15:30

開催場所 : オンライン会議

出席者: 赤塚会長、薩本副会長、東、川端、倉持、重川、杉山、鈴木、高橋、當麻、平林、増渕、松隈、安川、吉川各理事、綾部、今川各監事

### 【議案】

#### 第 1 号議案 総務委員会(薩本副会長)

正会員 6 名の入会を満場一致で承認した。

#### 第 2 号議案 規程改正(赤塚会長)

役員選挙管理委員会委員の選出について、「会長経験者および役員経験者」に改正変更の提案、総務委員会、財務委員会、家庭生活アドバイザー資格認定委員会各規程にある「同委員会の記録等の庶務は事務局員(委員)がこれにあたる。」を削除することを満場一致で承認した。

#### 第 3 号議案 役員・委員名簿、委嘱状(赤塚会長)

役員(理事・監事)・委員名簿を確認し、委員の委嘱について満場一致で承認した。委嘱状は後日交付される。

#### 第 4 号議案 2023 年度第 75 回大会、および以降の総会・大会開催(重川理事、赤塚会長)

第 75 回大会は東京家政大学で開催準備をしている。以降の大会は第 76 回中部支部、第 77 回関東支部で開催予定と説明があった。本部と開催校との共通理解をとれるよう大会運営委員長に要望があり、満場一致で承認した。

#### 第 5 号議案 2022 年度第 6 回家政学夏季セミナー(高村副会長、高橋理事)

9 月 19~21 日に開催予定である。学会誌 6 月号で詳細を案内済み。対面とオンラインのハイフレックス計画、参加の呼びかけと説明があり、満場一致で承認した。

#### 第 6 号議案 新年度の課題

(1) 会長・副会長(赤塚会長、薩本副会長、藤井副会長、高村副会長)

赤塚会長より「社会情勢の変化もあり、生活の質の向上はより一層の課題、学会の役割と考えている。滞りなく移行をすすめるため、みなさんに協力をいただきたい」と、薩本副会長からは「議事録作成と保存の徹底が必要である。抄録は学会誌・HP に掲載されるので会員に理解しやすいよう心掛ける。会員数を増やす努力が必要である。」と説明があった。藤井副会長からの「財務健全化への工夫をしたい。支部、部会への助成のあり方を検討していきたい。」、高村副会長からの「次期大会の開催や夏季セミナーの今後の開催について、支部、部会への助成配分のしかた等、検討したい。」とのコメントが会長より紹介された。

(2) 総務委員会(薩本副会長、増渕理事、當麻理事、吉川理事)

会員管理等に対応していくと報告があった。

(3) 企画・広報委員会(高村副会長)

リーフレットの改訂時期になること、掲載内容、2000 部印刷、10 月完成目途について、満場一致で承認した。

(4) 国際交流委員会(赤塚会長、吉川理事)

IFHE 評議員の推薦について、学会から計 4 名に依頼することが説明され、満場一致で承認した。

(5) 学会賞選考委員会、功労賞推薦委員会(薩本副会長)

1 月の理事会にむけて準備したいと説明があった。

(6) 家庭生活アドバイザー資格認定委員会(東理事)

第 6 期の募集となること、認定資格を初めて更新する時期にあたりその条件等を詰める必要があると説明があり、満場一致で承認した。

#### 第 7 号議案 その他

(1) 協賛依頼等について(薩本副会長)

4 学会からの協賛依頼について提示があり、満場一致で承認した。

#### 【報告】

1. 退会申出者及び会員現況報告(薩本副会長)

5 月末日付の会員動向が報告された。

2. 支部関係(各支部長)

各支部より、活動実績および予定が報告された。

3. 情報管理委員会(高橋理事)

学会 HP 表示のしかたを工夫していくと報告された。

4. 国際交流委員会(吉川理事)

6 月末に第 1 回国際交流委員会の開催を予定していると報告された。

5. 編集委員会(倉持理事)

6 月 18 日に第 1 回編集委員会の開催を予定していると報告された。

6. 生活科学系コンソーシアム(杉山理事)

シンポジウム 2 回終了済み。現在 3 回目を準備検討中であると報告された。

7. 生活やものづくりの学びネットワーク(薩本理事)

9 月 25 日公開フォーラムをオンラインで予定。委員交代まで薩本理事と川端理事 2 名で対応すると報告された。

8. その他(赤塚会長)

役員交代挨拶状・送付先、理事会開催予定、事務職員 B 雇用契約更新、役員名簿等について報告された。

以上